

# 令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門	
選択科目	
専門とする事項	

II-1- PFI 事業と従来型の公共事業の比較と、事業によって期待される効果

← 解答する問題番号（1から4）を点線の枠内に必ず記入すること。  
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

( 1 ) P F I 事業と従来型の公共事業の比較と特徴																			
比較と特徴として、次の3点があげられる。																			
1点目は、財源である。従来型の公共事業の財源はすべて公的資金であるのに対し、PFI事業の財源は民間資金を活用する。																			
2点目は、運営である。従来型の事業では、安定して公共サービス提供ができる一方、PFI事業では民間のノウハウや、創意工夫による効率的・効果的な公共サービスの提供ができる。																			
3点目は、リスク負担である。従来型では、公共セクターが全リスクを負担するが、PFI事業ではリスクを最も効率よく管理することができる者が当該リスクを分担する。																			
( 2 ) P F I 事業により期待される効果																			
① コスト削減																			
民間事業者の資金とノウハウを活用することで、インシヤルコストや運営コストの削減が期待できる。																			
② 効率性の向上																			
市場競争原理により、効率的な社会資本整備が可能である。また、設計から運営まで一元的に管理することで、事業全体のリスク管理も効率的に行える。																			
③ 経済の活性化 ①																			
従来型の公共事業を民間に委ねることや、他の収益事業と組み合わせることで、民間に対して新たな事業機会をもたらすことができる。 ② 以上																			

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

24字×25字

- ① 従来方式であっても、仕様発注されるので、社会に投下される公共資金は、そんなに変わらないのではありませんか。民間資本を活用するので、短期的に見れば小さいとも言えます。
- ② PFI の効果は、主に3つです。記載にある「コスト」、「効率性」に加え、一般的には「サービス」です。社会資本の効率的整備のほか、同じコストで質の高いサービスが得られること、または同じ質で安くできることがメリットです。